

# 水中の分子・イオンと選択的に相互作用する 機能性炭素材料の開発



仁科 勇太  
岡山大学・教授

ナノ炭素材料は高比表面積で高強度など、優れた特性を有しています。親水基を付与することにより炭素と水との相互作用を高めることができるため、本研究では、酸素官能基を炭素材料に導入することを試みます。0次元～3次元の多様な炭素材料の酸素官能基を制御するとともに、機能性部位を導入し、様々な

化学反応性や物性を有する炭素材料のラインナップを増やします。作製した炭素材料を用いて他班と協力し、水中に含まれる重金属・生体分子・ウイルス等の吸着または除去を検討します。

